

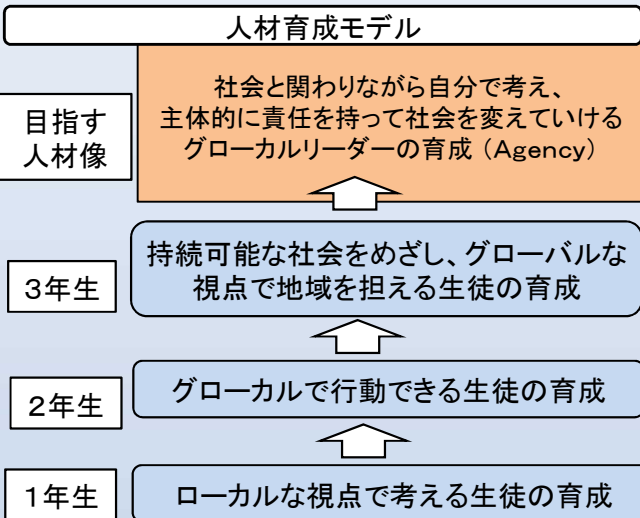
# 持続可能なふるさとの豊かな営みを創出するグローバル人材の育成

## 研究開発の背景



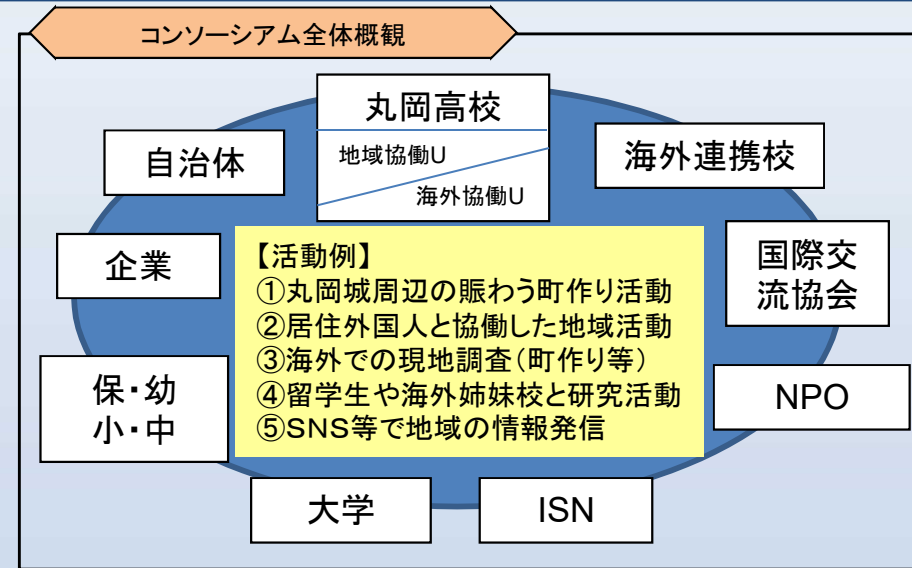
過去3年間の「総合的な学習の時間」における探究活動をもとに、丸岡城を中心に、人口減少や商店街の衰退を食い止めたいという高校生の思いが地域のコンソーシアムの思いと一致した。グローバルな視野で地域の課題を探究しながら町の豊かな営みを取り戻していく連携につながっている。

## 地域や海外との協働による取組



## 課題解決のためのコンソーシアムとの協働

1. 地域の課題を行政・企業・NPO等が学校と連携し協働して解決していく。
2. 地域課題の解決のために生徒が海外連携校等の様々な主体と協働しながら取り組む。
3. 課題解決に必要なカリキュラム開発は教職大学院と連携し推進する。
4. スタディー・ログ等のポートフォリオとして収集されたデータは、生徒の資質向上の効果測定のために、大学の研究者が分析する。
5. 本校で学ぶ留学生の生活や語学学習をコンソーシアムが支援する。



## 主な取り組み状況(上記QRコード参照)



タイスタディツアー



台湾研修



M-プロジェクト(1年)



ウィキペディアタウン作成

## 令和元年度の目標

地域・海外との繋がりを多方面から創り、生徒全体で共有すること

## 成果と課題(本校の身につけたい資質より検証)

- ①地域や世界と関わりながら、自分で考え、主体的に責任を持って行動できる力  
(確実に芽生えてきた。更にAgencyを認識させる)
- ②多文化共生社会をめざし、外国人と協働して課題を発見し解決できる力  
(SDGsの学習で顕著な変容が見られた)
- ③世界的な視野で地域の資産を生かして、新しい産業を生み出す起業力

(資産の掘り出しはできたが、産業まで考えられない)

生徒の変容が大きかったのは、全員がグループワークに参加できるようになり、人前で話ることができるようになったこと。課題の深い掘り下げが今後の学びで必要。